

第40回 明治大学人文科学研究so公開文化講座

文学と読書の現在

第一線からのまなざし

受講料
無料

事前
WEB申込

[定員350名]

2015年10月24日[土] 13:00~16:30

明治大学駿河台キャンパス リバティタワー1階 リバティホール

第1部 講演

「文学とジャーナリズムの間」

平尾 隆弘【前文藝春秋社社長／明治大学特別招聘教授】

第2部 対談

「変わりゆく読書風景」

中沢 けい【作家】 明治大学政治経済学部卒業

羽田 圭介【作家】 明治大学商学部卒業

総合司会／伊藤 氏貴【明治大学文学部准教授】



平尾 隆弘



中沢 けい



羽田 圭介

撮影：高橋依里

文学と読書の現在

第一線からのまなざし

インターネットのニュースやSNSにより、「活字離れ」はどうやら食い止められているようだが、「読書離れ」の方は疑いようがないのではないか。書籍の売り上げだけを見ても、読書の状況が急激に変わりつつあることは明白だ。

たとえば発信者が曖昧になりがちで、作り話をあつという間に蔓延させる力をもつインターネットの情報は、かえってフィクションを嫌い、「事実」であることをなよりの価値とする傾向を生んでいるように見受けられ、また、電子書籍などの新たな媒体は、読まれる本の種類や読書のあり方そのものをも変えているように思われる。

新たな環境と文学との相性はどうか、そもそも文学=フィクション/ジャーナリズム=ノンフィクションという二分法がどこまで有効なのか。現在の状況に即しつつ、長年、出版社でその両側に関わってきた元編集者や、今現在、作品を生み出しつづけている作家たちに、第一線の現場からしか知り得ない話を聞く。

平尾 隆弘

TAKAHIRO HIRAO

神戸市外国語大学客員教授。明治大学特別招聘教授。1970年神戸市外国語大学英米学科卒業。文藝春秋社入社。「週刊文春」編集長、「文藝春秋」編集長、出版局長を経て、2009年代表取締役社長。2014年退任。著書に『宮沢賢治』がある。



中沢 けい

KEI NAKAZAWA

作家。法政大学文学部教授。1978年、18歳にして『海を感じる時』で第21回群像新人文学賞受賞。1985年、『水平線にて』で第7回野間文芸新人賞受賞。上記2作に加えて、『女ともだち』『楽隊のうさぎ』『うさぎとトランペット』『麴町二婆二娘孫一人』など著書多数。



羽田 圭介

KEISUKE HADA

作家。2003年、17歳にして『黒冷水』で第40回文藝賞受賞。2004年明治大学附属明治高等学校卒業。2008年明治大学商学部卒業。2015年、『スクラップ・アンド・ビルド』で第153回芥川賞受賞。著書は上記2作品に加えて、『ワタクシハ』『メタモルフオシス』などがある。



撮影：高橋依里



お問い合わせ

明治大学人文科学研究所

TEL 03-3296-4135

Email jinbun@mics.meiji.ac.jp

会場

駿河台キャンパス リバティタワー1階 リバティホール

交通のご案内

- JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 下車徒歩3分
- 東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩5分